

学校適正規模・適正配置に関する地域意見交換会

日 時	令和5年8月29日（火） 午後7時から午後8時20分	場 所	余目第四まちづくりセンター
出席者	教育委員会	佐藤審議会副会長、梅木教育委員、太田教育委員、齊藤教育委員、佐藤教育長、佐藤課長、菅原補佐、富山指導主事、渡部（恵）主査、渡部（進）係長	
	地域参加者	35名（保護者6名、地域住民22名、その他7名）	
1 開 会	19:00		
2 あいさつ	佐藤教育長		
3 説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会の経過と今後のスケジュール ・ 児童生徒数推移 ・ アンケート結果の概要 ・ 答申案概要 ・ 学校整備の流れ（案） ・ 小学校学区編成についての考え方（案） （資料に沿って事務局が説明）		
教育長	<p>しばらくの間、意見交換の座長を務めさせていただきます。進行にご協力をお願いします。只今、事務局の方から、児童生徒の減少の課題、学校施設の老朽化の課題などを受けて、20～30年後を見据えてということで、審議会ですべて話されてきた内容の報告と補足の説明がありました。意見交換の進め方として、まず最初に小学校の学校整備について、次に中学校の整備についてと分けて進めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、小学校の整備については、審議会の方針としまして、児童数の減少や校舎の老朽化を考慮すると、余目一小、二小、三小は一つの学校として優先的に整備することが望ましいということと、また、将来的には庄内町の小学校は一つになるにしても段階的な移行が必要であるということ。特に余目第四小学校と立川小学校については、地域とのつながりや歴史的背景を考慮すると地域や保護者の方の合意形成のもと、より丁寧に進める必要があるのではないかと意見が出ております。これにつきまして、皆さまからご意見をいただきたいと思っております。資料4、8ページの学校整備にあたっての審議会意見につきましても、ご意見をいただきたいと思っております。なお、ご発言の前に受付で書いていただいたような形で地域名とか、ご自分の立場、氏名を述べてくださるようお願いいたします。例えば、「上朝丸の地域住民、または、保護者の〇〇〇〇です」と発言していただくとありがたいです。</p>		
A	<p>小学校、中学校について、私が考えるのは、今の余目中学校を小学校にして、中学校をどこか新しい場所に建てて、庄内町、一つの中学校にする。これが一番、皆さん納得しやすいのかと思います。確か、余目中学校は6教室の三階建てで18教室ですね。各学年3教室の6学年とすれば18教室で足りるはずですが。そのまま小学校にしてしまっただけで、中学校は新しい場所に庄内を代表するような学校を造るようなことでやったらどうかと思いました。検</p>		

	<p>討していただければと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。事務局お願いします。</p>
<p>教育課長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。余目中学校の普通教室の数ですけれども18教室あります。仮に小学校を統合した場合に、1学年3学級、もしくは、4学級になると想定しています。3学級の場合は、6学年で18クラスになるわけですけれども、現在の小学校の教室の使い方として、一クラスごと全員でやっている授業、それと習熟別ごと分かれてやる授業があり、対応できる教室が必要かなと思っています。それから、学校には特別支援学級用の教室も必要になってきますので、余目中学校をそのまま使ったら、事務局の方でもまだ試算していないんですけれども、教室数が足りなくなってくるのかなと見たところでもあります。そんなこともあって、いろんな施設関係、ドアの大きさとかトイレの関係とか規格的なところがあると思います。なお、この意見につきましては、審議会の方に、報告させていただきます。</p>
<p>A</p>	<p>一小、二小、三小の小学校をどこに建てるのかということで、すごく揉めそうな気がします。それを考えると、今の一小、二小、三小を余目中学校に入れてしまえば、あまり抵抗がないように思います。ですから、中学校の新設と現余目中学校を小学校にして、機能を充実させていくといった考え方もあるのではないかと。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございました。他にございましたらお願いします。</p>
<p>B</p>	<p>去年から今まで7回に渡って学校適正規模・適正配置の審議委員としていろんな意見を述べてきたんですけれども、只今の意見に付け加えますと、余目中学校を小学校にするというのは、非常に適切な意見ではないかと思いましたが。第一小学校から第三小学校までが老朽化が激しいということで、とりあえず、そこを一つとしてまとめてやっていきたいと思いますというのが、審議会の中でも出てきていました。それを余中の校舎を使うというのは、経済的なことも考慮してもスムーズにいくのではないかと考えています。今、小学校の話をしているわけですけれども、先ほどの説明で資料の9ページ目でありましたが、四小と立小については地域とのつながりや歴史的背景から地域と保護者との合意形成のもとで進めていくということで、非常に望ましい、喜ばしいことだなと思っています。あと一つですね、余中を小学校にした場合、中学校はどうなるのか、立谷沢、清川からですね、余中に通うには場合、夏場は45分くらいだとしても、問題は冬場なんです。明後日、立川地区の意見交換会があるわけですが、そこでどういう意見が出るかわかりませんが、是非ですね、余目地区の生徒が多いのはわかりますけれども、両者の中間地点あたりに新しい中学校を建てて、余目からも立川からも通う、こういうパターンも考えていいのではないかと思います。先ほどの資料の説明の中では、それはないんだというようなニュアンスの説明になっていましたけれども、是非、考えていただきたい。最後になりますけれども、放課後こども教室の関連で、これは一小、二小、三小、四小、立小含めてですね、放課後こども教室をやっているわけです。それを考えると地域と学校とのつながりを放</p>

	<p>課後こども教室で子どもたちを通じて形成していけるのではないかと考えますので、小学校のパターンについては、パターン3を要するに四小と立小を一緒にして、一小、二小、三小を一つにする、こういうパターンで進めていただければ、第四学区の人たちの気持ちも収まるのではないか、出来たら新しい中学校をこの地区に建ててもいいんじゃないかとも考えています。</p>
教育長	<p>ありがとうございました。事務局の方お願いします。</p>
教育課長	<p>ご意見ありがとうございます。Bさんからは審議会の方に参加いただいております。審議会が出た内容を説明しましたが、確かにそのような意見もあったということで、資料の8ページ目の(4)になりますが、中学校においては、というところになりますが、両地域の間地点という意見もありました。余目地域の違う場所という意見もありました。既存の余目中学校を利用するという意見も出てきましたが、既存の余目中学校の校舎を長寿命化し使用するということが全員が賛成したわけではありませんでした。賛成した方が一番多かったということになります。比較しまして、既存の余目中学校を利用した場合、施設が広い、グラウンド、体育館が2つ使える、中心部にあるということでスクールバスの必要台数がなくて済む、社会教育施設の使いやすさということから、審議会では、既存の余目中学校を利用することがいいのではないかという意見でまとまったということでございます。二つ目のご意見については、一小、二小、三小を一緒にするということで、とりあえず、パターン1から始めて、四小と立小については、パターン3ということで一緒にというご意見だったわけですが、こういう意見があったということで報告させていただきます。</p>
教育長	<p>他にございますでしょうか。</p>
C	<p>第一学区の保護者の方から言われてきたのですが、第一学区の家根合の学童の施設がすごく古いので、そっちの方を早く何としてくれというような話でした。いろんな学区ありますけども、各学区で学童保育の施設の形が違います。学校の中にあるのは、第四学区だけです。新しい校舎なのでこういうことができたのかと思いますが、20年、30年を見据えて、学校を整備していくのであれば、学校の施設内に学童のための教室を設けてほしい。無理ならば、敷地内に学童保育施設を設けてほしい。私がこちらに来たのが2年前ですので、田舎のことは勉強するしかないんですけども、向こうの方では、いろんなことを考えたうえで、子どもたちの緊急対策などいろんなことを考えたうえで、いろんなことを想定したうえで、学校の敷地内に織り交ぜる。私は22年前に2001年ですけども、学校の保護者代表として、船橋の方に学校施設が新しくできたときに視察に行ってきたことがあります。当然、市と庄内町は全然違いますけども、緊急体制とか備えたうえで、学校の敷地内に学童保育施設を設けておりました。学校建設を考えるうえでは、学童保育施設を敷地内に設けることができるよう予算を審議してもらいたいです。今、新しく小学校を整備する際の事業を試算しているかと思うが、学童保育施設のことは入っていないと思います。審議会の方では、学童保育の施設も</p>

	見据えて考えてもらいたいです。学校の教育で郷土愛をしっかりと教えて、そういったことも含めて、20年後、30年後、自分たちでこれだけ造ってきたんだという誇りをもてるような学校整備にしてほしいと思います。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
教育課長	ご意見ありがとうございます。今回の審議会、意見交換会の中で、初めて学童保育の件が出てきました。おっしゃるとおり、学校が終わった後の教育に関して非常に大きな問題かと思えます。学童保育におきましては、教育委員会とは別の課で担当しておりますけども、担当課でないので関係ないということではなくて、その辺は連携をとって今後協議を進めていきたいと思えます。
教育長	他にございませんか。
D	9ページの審議会の考え方、一小、二小、三小は施設の老朽化のため早急な対応が必要であるとありますが、早急とはどのくらいのことを指すのか。教えてください。あと、二行目で1校が望ましいとあって、二つ目の矢印では、1校ないしは2校が望ましいとあるがどういうことか教えてください。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育総務係長	早急という言葉についてですが、1、2年という意味ではなく、出来るだけ早くという意味で、最短では7年くらいかかるものと思われまます。二つ目の質問につきましては、二行目の1校ということは、一小、二小、三小は一緒になって1校ですよという表現になります。二つ目の➤の1校ないし2校が望ましいというのは、20年後、30年後を見据えた場合に庄内町としての小学校数になります。
教育長	他にありませんか。
C	7年後は2030年ですので、2030年はSDGsの年ですので、学校整備を進めるにあたってSDGsを意識しながら進めていただきたいです。できれば、その頃には給食費は無償化にしていきたいと思えます。庄内町の緊急な課題は少子化対策ですので、そういったことも含めて、みんなが平等に教育を受けられるように、庄内町が教育に特化した町になってほしいと思えますのでよろしくお願いします。
教育長	ありがとうございました。事務局お願いします。
教育課長	7年後と申しましたけども、今回、意見交換会に出させていただいたものは、審議会での考え方でありまます。これを地域意見交換会で出た意見を踏まえて、最終的にまとめ、それを町に提出してもらいまます。町としましては、これから、いろいろな協議を経て最終的に決定することになります。その後に、統合することになれば、統合するための統合準備委員会などを立ち上げて、一小、二小、三小をまとめて建てる場合、新たな土地を求めてというような段取りになるかと思えます。いつから着手できるかはっきりわかりませんけども、着手し始めたらできるだけ早く学校が建設できるように進めていきたいと考えていまます。給食費につきましては、今年度、半年間の無償化ということで取り組んでいまます。町の方でもできるだけ無償化に近づくような形で

	進めていきたいとは考えておりますのでよろしくお願いします。
教育長	他にございますでしょうか。
E	小学校、一小、二小、三小が新築という考えで、早くて7年以上かかるということでしたが、資料2ページ目の資料2について、7年後どのくらいがいるのかなということで見たとときに、結構人数が少ないということに気づきました。なので、自分の希望ですけども、9ページの小学校のパターンについて、4パターンのうち、パターン2、パターン4で進められればなど個人的に思っています。というのは、中学校は一緒になるわけですが、小学校のうちから一緒であれば、友達関係も深くなっていくのかなと思いましたが、できれば、一小、二小、三小というよりは、これに四小と立川小も加えてもらえたらと思います。この意見も取り入れてもらいながら考えていただければと思います。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	ご意見どうもありがとうございます。先ほど説明の中で申しましたが、どのパターンで進めるべきか、審議会の中でもまとまらなかったのも、このような意見が出たということで報告させていただきたいと思います。
教育長	他にございますでしょうか。
C	審議会のメンバーはどのような方がなされているのですか。
教育長	事務局お願いします。
教育総務係長	次第の一番下の方を見ていただきたいんですけども、審議会のメンバーは17名おります。保護者代表、地域代表、教育者代表、有識者、公募者ということで17名で組織しています。
C	できれば、公益大学の先生方とか、社会福祉士を目指している学生さんもおりますので、そういった新しい意見も取り入れてほしいなと思っています。庄内町にも社会福祉士をめざしている人が私の周りにもいっぱいいますので、できればそういう人たちにも活躍してほしいなという私の希望もありまして、出来れば、もっともっと若い意見を取り入れるやり方でやってほしいと思います。
教育長	他にございますでしょうか。それでは小学校につきましてはこれで終了させていただいてよろしいでしょうか。それでは、つづきまして、中学校の学校整備について移りたいと思います。中学校の整備について、審議会の考え方としては、中学校は1校とするとしたうえで、理想としては、立川地域、余目地域両地域の生徒、保護者の負担を軽減するために中間的な場所に新たに校舎を建設することが望ましいが、現余目中学校の施設の大きさ、統合した場合のスクールバスの必要台数、既存社会教育施設の利用のしやすさや将来的な小学校建設などの財政負担などから総合的に判断して既存の余目中学校校舎を長寿命化改修し使用することが望ましいという方針（案）になりました。そうした際は、立川地域の生徒、保護者の負担を少しでも軽減できるような最大限の配慮が必要だということも出ております。具体的には、先ほ

	ど説明があった内容になりますが、資料4 8ページに記載してある学校整備にあたってのご意見も含め、皆さまからご意見を頂戴したいと思います。いかがでしょうか
A	小学校の件でも申しましたけども、今の余目中学校を小学校にして、中学校を庄内町1校で造るとなった場合、全町民が恩恵を受けるようなものであってほしいと思っています。場所はお任せしますが、人口的なことを考えれば、今の二小付近も考えられるでしょうし、新しい中学校を造る際は、是非、庄内を代表するような学校を造ってほしいと思っています。
教育長	ご意見ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	現余目中学校を小学校にしてというご意見でした。仮の話ですけども、先に余目中学校を造って校舎ができてから、生徒が移って、校舎が空になってから既存の余目中学校を改修していくというような流れなのかなと思ったところです。その場合の計画年については、シュミレーション等しておりませんので、事務局の方で、シュミレーションはしてみたいと思います。ご意見ありがとうございました。
教育長	他にございますでしょうか。
F	立川町と余目町が合併して、すべて余目の方に学校をもってくるというのはいかがなものか。やはり、小学校も中学校も同じ地域にあるということ、私は余目だから余目にある方がありがたいですけども、それではなくて、やはり、立谷沢も庄内町ですし、子どもたちの学校がなくなってしまうと、若いご夫婦は、どうしても学校に近いところを選ぶとか、過疎に拍車がかかるのかなと、それだけでなく立川地域は人口減少の傾向にあるので、その辺をよく考えて、すべて大きいところに集めるというのはどうかと思う。今はすべてバスなので、立谷沢の方面から町中の方まで来るというのは、小学生の子どもたちにとっては容易なことではないのかなと思っています。子どもたちの視点でということを入りながら整備してほしいと感じました。
教育長	ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	ご意見どうもありがとうございます。繰り返しになりますが、審議会の方でも只今の件につきましては、いろんな意見が出ております。その中で、比較検討ということで、中間地点に建てた場合、それから余目に建てた場合、それから既存の余目中学校を使った場合、それらを比較検討して、既存の余目中学校を使った方がいいと望ましいというような意見にまとまったところです。只今のようなご意見があったということは審議会に報告させていただきます。
教育長	他にございますでしょうか。
C	学校整備ということではありますけども、庄内町でも2040年には人口15000人を割るような状況でもあります。学校の先生方からも頑張ってもらって、清河八郎とか地域のことを子どもたちに教えてほしい。
教育長	ご意見ありがとうございます。事務局お願いします。
教育課長	今後学校がまとまったとしても、先生方からしっかり勉強していただいて、

	地域に関することを子どもたちに教えてほしいというような意見とを受け取らせていただきました。その辺のことにつきましては教育委員会でも現在でも教育基本目標の中でも地域のこともありますので、統合したとしてもしっかり引き継いでいくということで、ご意見どうもありがとうございました。
教育長	中学校に関して、いかがでしょうか。何かございませんか。それでは、全体を通しまして何かございませんでしょうか。
D	事業費的なことは審議会で話し合われてきましたでしょうか。
教育長	ありがとうございます。それにつきまして、事務局お願いします。
課長補佐	それぞれパターン1からパターン4まで、今の生徒数に応じた金額を試算はしておりました。審議会の中で金額の方も提示はしておりますが、パターン1ですけれども43億円ということで示していますが、これは、一小、二小、三小を新築して、20年後、30年後というスパンで考えておりますので、四小、立小を長寿命化で考えた場合の試算になります。パターン2については、一小から四小を新築して、立小を長寿命化するとして、そちらの方が40億円。パターン3については、一小、二小、三小を新築して、四小と立小どちらかを長寿命化するとして、そちらの方については35億円。パターン4については、すべての一つにして1校とした場合は33億円ということで提示はしておりますが、これは、あくまで、パターンに沿って提示した金額です。例えば、一小、二小、三小を優先して進めるとした場合は26億円を想定しています。その後四小、立小を長寿命化するかということ、どういう形で合意形成が図られるかということにもなりますし、例えば、一小、二小、三小をそのまま使ってパターン2にいくとか、パターン3にいくとかいろいろなことが考えられるので、一概にこの金額が当てはまるかということにはならないので、学区編成のパターンによっても金額が変わってくるということで考えていただければと思います。
教育課長	補足させていただきます。只今、パターン1からパターン4まで順に金額について説明させていただきました。この金額につきましては、直接パターン1にしたとき、直接パターン2にしたとき、直接パターン3にしたとき、直接パターン4にした場合というということでの金額になります。審議会という段階的な整備ということで、例えばですけれども、パターン1からパターン2、パターン4にいくようであれば、また、そこで金額が変わってくるようになりますのでご了解いただければと思います。中学校について説明がなかったんですけれども、長寿命化で既存の校舎を使ってということで、どの程度お金をかけるかということもあるんですけれども、工事費だけで16億、17億円必要になると見込んでいます
教育長	他に全体を通して何かございませんでしょうか。
C	今の説明の金額の中には、体育館とか学童保育施設などは入っていますか。

課長補佐	体育館は含まれていますが、土地代は含まれてなく、あくまでも建物だけの金額になります。学童保育所については審議会の中で話し合われておりませんので試算の中には入っておりません。ご意見として伺わせていただきます。
教育長	他に全体を通しまして何かございませんか。それでは、他に無いようので意見交換をこれで終わらせていただきます。進行にご協力していただきまして、ありがとうございました。
5 その他	なし
6 閉 会	20:20